



ETK1045026A

CFJB72-UCM<P1><P2>

住友電気工業株式会社

工法書

本品に油等が付着しますと、ネジ部に亀裂が発生し本来の特性を損なう恐れがありますので、下記の点につき注意して組み立てをお願いします。

(1) 取り付け場所の注意事項

本品を取り付ける際に、取り付け箇所に油等が付着していないか確認して、油等が付着している場合はきれいに拭き取って下さい。

(2) 本品を組み立てる際の注意事項

- ① アルコールやアセトン等の薬品での本品の清掃は行わないで下さい。
- ② 油等の付いた工具を用いて組み立てないで下さい。

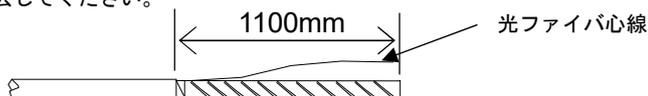
▽ 安全上のご注意 ～安全にご使用いただくために必ずお守りください～

下記には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示す通りになっております。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

本製品に関する安全上のご注意	
<p>⚠ 危険</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。</p>	-
<p>⚠ 警告</p> <p>右記内容を見逃して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。</p>	<p>接続箱は、落下などの無いように、確実に固定してください。</p> <p>高所での施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご注意ください。</p>
<p>⚠ 注意</p> <p>右記内容を見逃して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び、物的損害の可能性が想定されます。</p>	<p>刃物などのご使用時には十分に注意してください。</p> <p>本製品の組立てには、本製品以外の部品を使用しないでください。</p> <p>締め付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください。本製品の機能低下及び破損の原因となります。</p>
<p>お願い</p> <p>右記の内容を見逃して、誤った取扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。</p>	<p>融着接続作業は、ご使用の融着接続機の取扱い説明書をご覧ください。</p> <p>メカニカルプライス及び現地組立て型単心コネクタは、それぞれの取扱い説明書をご覧ください。</p>

1. 光ケーブル外被の剥ぎ取りとスロットの切断

1) ケーブル外被と上巻を除去してください。



2) 光ファイバ心線に心線保護チューブを被せてください。

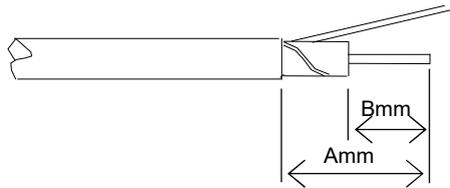


※心線保護チューブの長さは4)項を参照下さい。

3) 下図寸法にてスロットの切断と、テンションメンバの剥き出しを行ってください。

※心線に損傷を与えないように注意してください。

※FRPテンションメンバの場合は、テンションメンバスペーサを被せて処理してください。

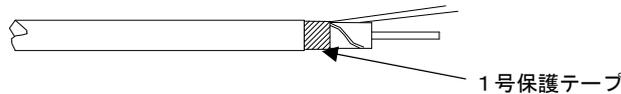


テンションメンバスペーサ

テンションメンバがFRPの場合は、テンションメンバスペーサ挿入後、接着剤にて確実に固定して下さい。
* 取り付け位置はテンションメンバの先端(面一)に取り付けてください。

ケーブル導入方向	A	B	心線保護チューブ長
上導入	35mm	20mm	約 150mm
下導入	45mm	20mm	約 350mm
左右導入	70mm	50mm	約 350mm

4) 心線保護チューブ上に1号保護テープを2回以上巻き付けて固定してください。



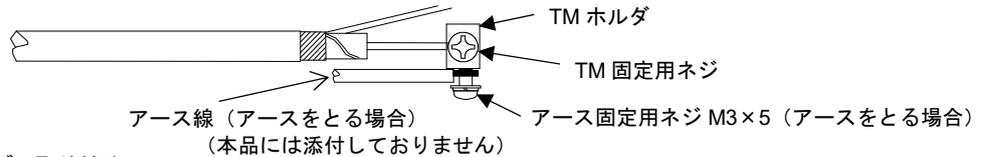
5) TMホルダの固定

下図のようにTMホルダをテンションメンバの先端にプラスドライバにてしっかり締め付けて固定下さい。

●アースをとる際は、添付のアース固定用ネジ M3×5(ワッシャ、スプリングワッシャ付)を用いて下図のように固定して下さい。

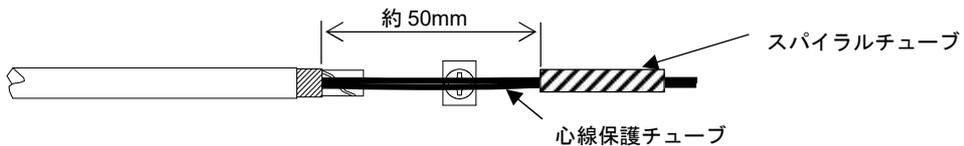
<アースをとる際の注意事項>

- ・ケーブルが「下導入」「左導入」「右上導入」の場合は、TMホルダはそのままご使用下さい。
- ・ケーブルが「右導入」又は「左上導入」の場合は、TMホルダのTM固定用ネジを反対側に付け替えて下さい。
- ・アース固定用ネジは、次項『2. 光ファイバの収納』内、各ケーブル導入図に楕円で示す箇所にくるようにして下さい。



6) スパイラルチューブの取り付け

下図のように複数本の心線保護チューブをスパイラルチューブ(50mm)で束ねてください。

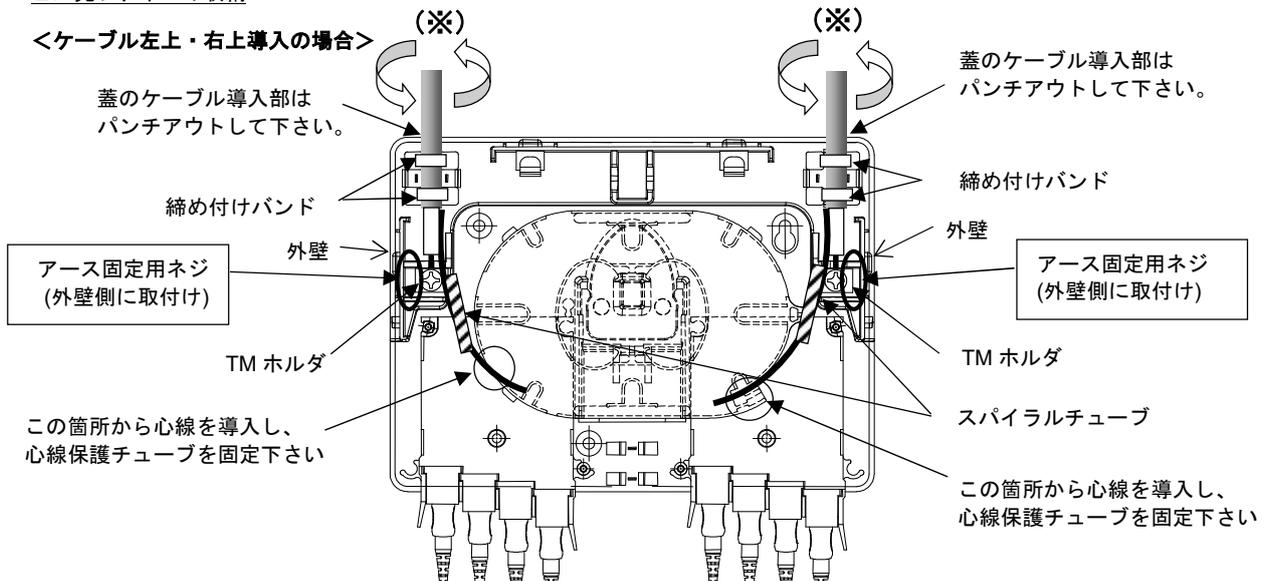


2. 光ファイバの収納

<ケーブル左上・右上導入の場合>

蓋のケーブル導入部はパンチアウトして下さい。

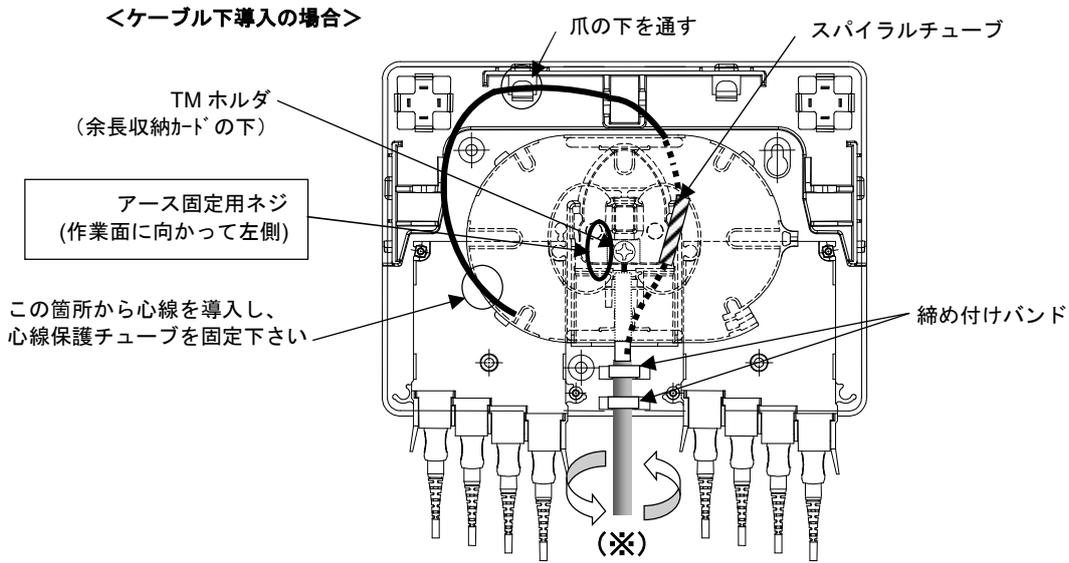
蓋のケーブル導入部はパンチアウトして下さい。



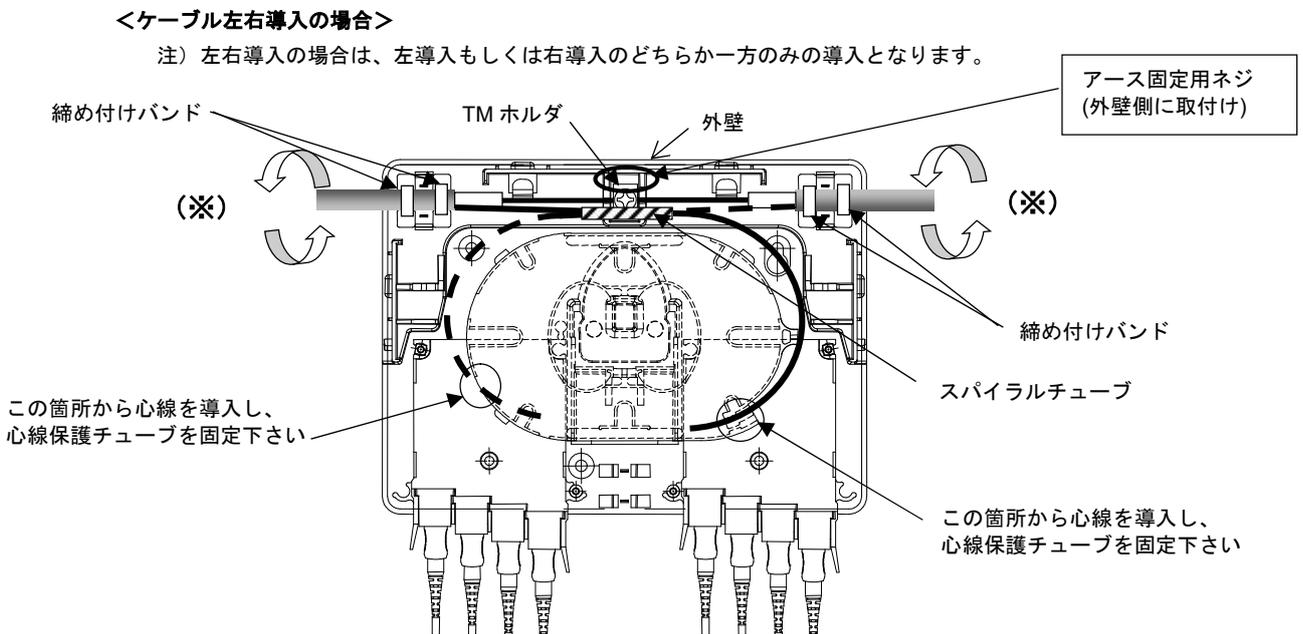
この箇所から心線を導入し、心線保護チューブを固定下さい

この箇所から心線を導入し、心線保護チューブを固定下さい

※ケーブルに過度な捻り・引張り・曲げを加えないで下さい。



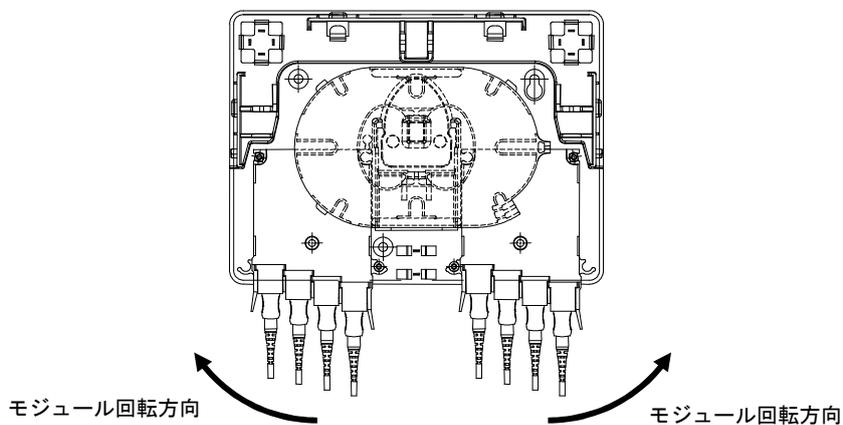
※ケーブルに過度な捻り・引張り・曲げを加えないで下さい。

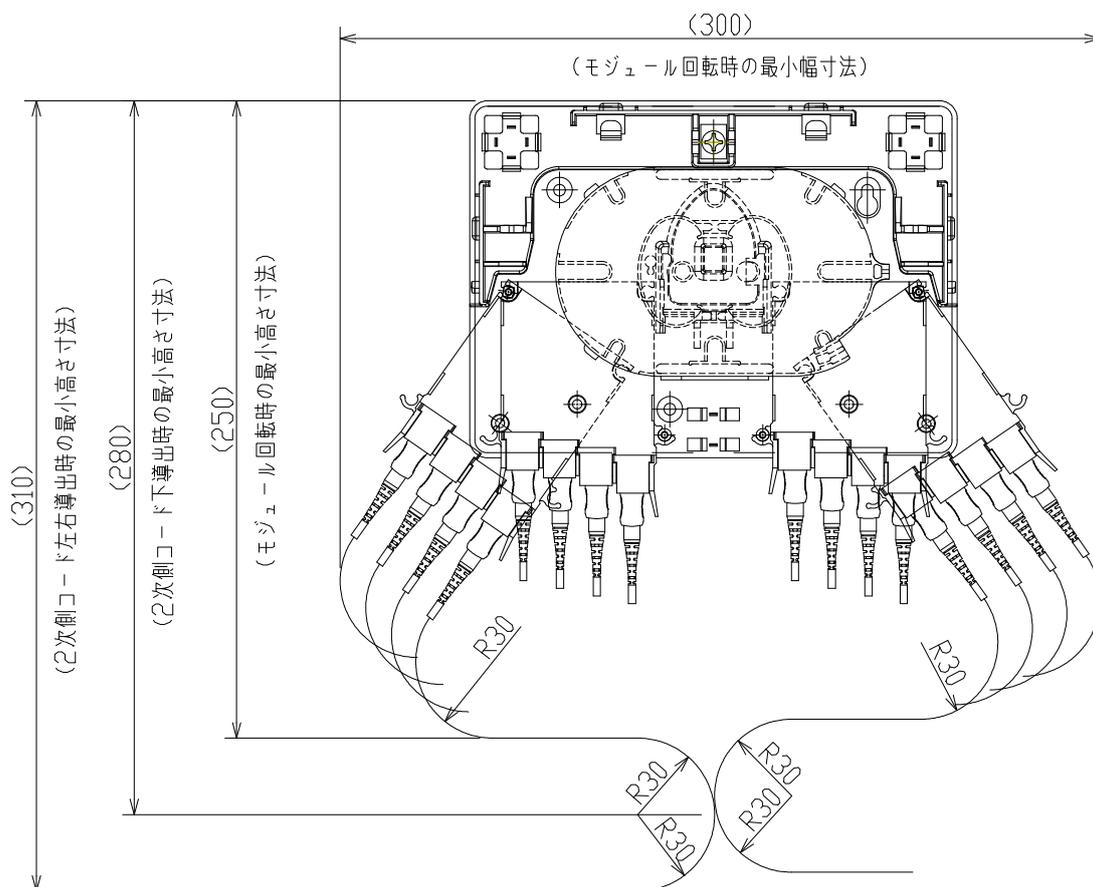


※ケーブルに過度な捻り・引張り・曲げを加えないで下さい。

3. コネクタの着脱

コネクタ着脱の際は、ミニプレ配線モジュールを下図のように回転させて、ミニプレ配線モジュールを手で支えながら作業してください。





配線スペースについて

—以上—